

# RIO TINTO

## リオ ティント

### 2007年第2四半期営業報告

2007年7月18日

- リオティントは2007年7月12日、アルキャンに対し、普通株1株あたり101米ドル、総額381億米ドルでの、全て現金による買収提案を行いました。
- 2007年第2四半期における鉄鉱石の生産シェアは過去最大となり、前年同期比11%増、2007年第1四半期と比較して15%増加しました。これは既存鉱山の拡張により能力が増加した為です。
- 銅の採掘量は、Kennecott Utah Copperで品位が低下した為、前年同期比で10%減少しました。
- 銅地金生産量は、Escondidaのリーチング工場での生産増により、前年同期比で20%増加しました。
- 金の生産量は、Grasbergにおける金の採掘品位が上昇した為、前年同期比で36%増加しました。
- 18億米ドルのYarwun アルミナ精製所拡張プロジェクトが7月に承認されました。この拡張により年間生産量は倍以上となり、2011年までに生産量を200万トン増加させ、340万トンにする予定です。
- 強粘結炭の生産量は、Queenslandにおける困難なインフラ状況にも拘らず、市況の回復により前年同期比で6%増加しました。
- 豪州一般炭及び非微粘結炭の生産量は6月の大雨により、前年同期比で27%減少しました。これは、当該四半期を通して、港湾の混雑及び鉄道設備といったインフラの困難を含んでいます。
- ウラン精鉱の生産量は、Ranger 鉱山が2007年第1四半期の大雨の前に採掘された高品位のウラン鉱石を精錬できた事により2006年の第2四半期と比べ46%増加しました。これはRössingの低品位による生産量の減少分以上でした。
- Diavikにおけるダイヤモンドの生産量は、四半期レベルで過去最高のものとなりました。

この報告書に記載されている通貨は、記載されている場合を除き、全て米ドルです。

## 鉄鉱石及び鉄

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Hamersley	28,030	+22%	+17%	51,941	+20%
Robe River	6,932	-3%	+7%	13,392	+2%
IOC	1,730	-34%	+22%	3,144	-30%

2007年6月末の豪州における操業は、生産量及び船積量ともに過去最高となりました。鉄鉱石の継続した堅調な需要を鑑みて、リオティントは年間生産能力をさらに3.2億トンまで拡張すべく、検討をしていく事を発表しました。

新しいブレンド商品である **Pilbara Blend** は6月末に従来の成品を置き換えるかたちで導入されました。**Pilbara Blend** の船積トン数は、世界に輸出している鉄鉱石の約15%を占め、ロジスティックの面で顧客と私共双方に利益をもたらします。

請負業者及びその他の鉱業関連費用の増加が、**Pilbara** の利益幅を圧迫しています。

### Hamersley 及び Robe River

Yandicoogina 及びその他の既存鉱山地域の拡張が数量増量に貢献し、当四半期における **Hamersley Iron** の生産量は、過去最高となりました。

主な設備の拡張計画に伴ったメンテナンスの中、当四半期において生産率を伸ばすことができました。最近になり主だったアップグレードが完了した **Tom Price**、**Paraburdoo**、及び **Dampier** 港は順調な操業を行っています。

拡張計画の第2ステップは、スケジュール通りに進んでおり予算内に収まっています。**Yandicoogina Junction South East** の鉱体から最初の鉱石が採掘されたのは5月に入ってからで、スケジュールよりも4ヶ月早まりました。**Yandicoogina** 鉱山における高い生産率は、9月末までに年間5,200万トンの生産量に達し、リオティントが保有する **Pilbara** 地域の11鉱山で最大級となることに起因しています。**Parker Point** における **Dampier** 港の第2拡張計画、**Cape Lambert** 港湾施設の拡張、及び **Hope Downs** 鉱山の建設はスケジュール通り進んでいます。

### Hismelt

当四半期中 **Hismelt** 工場にて溶解炉の主要な改修工事が行われ、その結果、当該四半期での生産はありませんでした。改修工事においては以前から生産上の制約要因と認識されていた幾つかの付帯設備に係る問題が重点的に取り組まれ、その後工場の生産は再開されました。

### Iron Ore Company of Canada

コンセントレート及びペレットの生産は、3月9日から第2四半期の4月25日まで続いたストライキが終了したことで復帰しました。

## エネルギー

### 米国における一般炭

リオティントの生産シェア (単位：千トン)

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Rio Tinto Energy America	30,318	-4%	0%	60,675	-1%

2007年第2四半期における生産量は、2007年第1四半期と比較して横ばいでしたが、例年になく多雨な春の気候により、鉄道輸送と石炭生産を遅らせ、前年同期比では4%減少しました。

### 豪州における石炭

リオティントの生産シェア (単位：千トン)

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Rio Tinto Coal Australia					
強粘結炭	1,633	+6%	+14%	3,071	+15%
その他石炭	5,898	-27%	-16%	12,939	-18%

強粘結炭の生産は、市況の改善の恩恵を受けたものの、Queenslandにおけるインフラ問題により制限を受けました。

New South Wales (NSW)の操業は、6月の大雨による影響を受け、リオティント子会社のCoal & Alliedが不可抗力 (Force Majeure)を宣言した結果となりました。インフラの制限を受けた港の減少した処理量は、船積を継続的に遅れさせ、結果として、Hunter Valley コールチェーンに渡って影響し、生産量が減少しました。

### ウラニウム

リオティントの生産シェア (単位：千ポンド)

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Energy Resources of Australia	2,236	+170%	+48%	3,743	+29%
Rössing	971	-29%	-25%	2,263	-14%

2007年第1四半期の大雨の前にRanger鉱山において採掘及び在庫していた高品位のウラン鉱石を精錬した事により、2007年第2四半期の生産レベルは回復しました。サイクロンによる大雨で、高品位のウラン鉱石へのアクセスを妨げられた2006年第2四半期に比べ当該四半期の生産量は、170%増加しました。

Rössingにおける第2四半期の生産量は、Trolley10鉱体の廃石の除去による低品位に影響されました。Trolley10鉱体は、次の主たる採掘源になると期待されており、第3四半期の初期には廃石除去が完了すると見込まれています。

## ダイヤモンド及び鉍物

### ダイヤモンド

リオティントの生産シェア（単位：千カラット）

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Argyle	4,414	-41%	+27%	7,884	-38%
Diavik	1,975	+21%	+27%	3,526	+30%

Argyle におけるダイヤモンドの生産量は、現在の採掘場所と関連して継続的に粗鉍品位が低下したことによる制約を引き続き受けています。露天掘りが終了間近となり、坑内掘りへ移行していくため、生産量が変化しやすくなることが予想されています。

当四半期の Diavik における生産量は四半期水準で過去最大となり、高水準の生産量及び採掘品位の継続的な上昇が前年同期比 21%増に寄与しました。

### 鉍物

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
ホウ酸塩	145	+2%	+12%	274	+1%
酸化チタン原材料	367	+4%	+4%	718	+3%

ホウ酸塩の第2四半期の生産量は、季節要因に基づく顧客需要増により、2007年第1四半期と比較して12%増加しました。

当四半期における酸化チタン原料の生産は増加しましたが、これは現在の堅調なマーケット(特に塩素法プラント向け)を反映しており米国のやや弱含みなマーケットを底堅いヨーロッパのマーケットが支える状況を表しています。

### アルミニウム

リオティントの生産シェア（単位：千トン）

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
Rio Tinto Aluminium					
ボーキサイト	4,233	+11%	+0%	8,462	+10%
アルミナ	685	-20%	+4%	1,346	-18%
アルミニウム	216.5	+5%	+2%	428.2	+3%

当四半期のボーキサイト生産量は前年同期比で11%増加しましたが、これは、昨年については気候が厳しかったこと、昨年末に2基目のシップローダーが導入されたことを反映したものです。

当四半期の Yarwun におけるアルミナ生産量は、2007年第1四半期にメンテナンスのために操業停止を行ったことを受けて、過去最高に次ぐ高い水準となりました。当四半期におけるリオティントの全アルミナ生産量は、Eurallumina 精製所における権益を2006年10月に売却したことにより、前年同期比で20%減となりました。

アルミニウム製錬所における生産量は、前年同期比で5%上昇しました。Tiwai Point(NZAS)製錬所における生産量は、水力発電所の貯水域での降雨量不足により減産を行っていた2006年第2四半期に比べ、10%増加しました。

## 銅

リオティントの生産シェア (単位：千トン)

	2007年 第2四半期	2006年 第2四半期比	2007年 第1四半期比	2007年 上半期	2006年 上半期比
<b>Kennecott Utah Copper</b>					
銅採鉱量 (千トン)	55.6	-19%	+3%	109.7	-16%
銅地金生産量 (千トン)	67.9	0%	-3%	137.6	-1%
モリブデン (千トン)	3.8	+8%	-19%	8.5	+7%
金採掘量 (千オンス)	121	-19%	+12%	228	-19%
金地金生産量(千オンス)	147	+4%	+27%	262	+1%
<b>Escondida</b>					
銅採鉱量 (千トン)	105.2	-1%	-6%	216.7	+2%
銅地金生産量 (千トン)	19.7	+222%	-1%	39.6	+180%
<b>Grasberg JV</b>					
銅採鉱量 (千トン)	5.6	-45%	-3%	11.4	-48%
金採掘量 (千オンス)	97	+410%	+30%	171	+508%

### Kennecott Utah Copper

当初から予想していた通り Bingham Canyon の銅及び金の採掘品位が低下したことで、銅採掘量は前年同期比で19%減少しました。

モリブデンの生産量は、実収率の増加により前年同期比で8%増加しました。

銅及び金の地金生産量は、製錬所が目標とした水準まで継続的に稼働したため、前年同期と同等になりました。

### Escondida

当四半期の銅採掘量は、採掘品位の減少と実収率の増加を反映して、前年同期比よりも若干減少しました。銅地金生産量は、硫化銅のリーチングによる生産量増が2006年後半より加速してきたため、前年同期比で222%増加しました。

### Grasberg

2007年におけるメタルの配分比率の変化により、対前年同期でリオティントの銅の生産シェアは低下、金の生産シェアは増加しました。金の採掘品位上昇による影響も、対前年同期比で生産量が増加している要因です。

### その他銅事業

Northparkes における銅生産量減少は、E26 ブロックケープの生産が終了間近となり、予期していた通りの採掘品位が低下したことに起因するものです。

Palabora の坑内掘り鉱山による日々の生産は、平均して33,500 トンを上回りました。

## 探鉱及び評価

探鉱及び評価に関する税前の費用は、当四半期の損益勘定に 1.94 億米ドル費用計上され、2006 年第 2 四半期においては、1.13 億米ドル費用計上されました。このうち、0.32 億米ドルは各ビジネスユニットの費用として認識されました。主な増加要因としては、Simandou、Resolution、及び La Granja における探鉱費用の増加によるものです。

当期における活動は以下の通りとなります。

商品事業部	進行しているプロジェクト	新規開拓プログラム
アルミニウム	ブラジル(Curuá)：政府スポンサーの環境管理計画は後 2-3 年かかる予定	ブラジル、豪州
銅	インドネシア(Sulawesi) - ニッケル：COW の交渉継続 米国(Lakeview) - ニッケル・銅：資源の評価中	ロシア(RioNor 合弁)、カザフスタン、米国、メキシコ、チリ、ペルー、アルゼンチン
ダイヤモンド及び 鉱物	インド(Bunder) - ダイヤモンド、Xai Xai、Imhambane - イルメネイト、Mozambique、Jarandol 及び Jadar - ホウ酸塩、セルビア、Namekara - 蛭石、ウガンダ：初期的企業価値の検討 (Order of magnitude) 作業中	インド、カナダ、ロシア、モーリタニア、及びマリ(ダイヤモンド)、豪州、カナダ、米国、トルコ(産業用鉱産物)
エネルギー	南アフリカ(Chapudi 一般炭)：規模の順位の調査完了 米国 (Whitehorse 一般炭及び Sweetwater ウラン鉱石)：初期的企業価値の検討 (Order of magnitude) 作業中	コロンビア、カナダ、米国、南アフリカ、及びモンゴル
鉄鉱石	豪州(ピルバラ)：ある程度調査が進んでいるいくつかの採掘有望地において採掘ドリリング	ブラジル及びギニア、新しい国での権利取得申請中

Kennecott Utah Copper Northparkes, Greens Creek, Energy Resources of Australia, Rössing, Argyle, Diavik、及び Pilbara Iron を含んだリオティントの数多くのビジネスにおいて、鉱山リースの探鉱が行われました。Resolution(銅/金-米国)、La Granja(銅-ペルー)、Eagle(ニッケル/銅-米国)、Potasio Rio Colorado(炭酸カリウム-アルゼンチン)、Kintyre(ウラニウム-豪州)、Simandou(鉄鉱石-ギニア)、及びピルバラ地域におけるいくつかの鉄鉱石鉱床を含む数多くのプロジェクトについて、Pre F/S 又は F/S の検討がされています。リオティントは引き続き、アラスカにある Pebble(銅・金・モリブデン)鉱床については、Northern Dynasty Minerals による作業を監視していきます。

Oyu Tolgoi(銅・金)プロジェクトは、2007 年 6 月 26 日にモンゴル政府が投資契約の草案を完了したと発表したことで最終段階まで一歩近づきました。この契約は、モンゴルの国会へ提出されることとなります。これが、政府承認の最終ステップになると予想されています。それ以外にも、リオティント及び Ivanhoe Mines(カナダの合弁事業のパートナー)の取締役会の承認が必要となります。契約書はモンゴル政府が、プロジェクトに関して 34%の出資比率を持つことが規定されています。

【本件に関するお問い合わせ先】

ロンドン

**Media Relations**

Christina Mills

電話：+44-20-8080-1306

携帯：+44-7825-275-605

Nick Cobban

電話：+44-20-8080-1305

携帯：+44-7920-041-003

**Investor Relations**

Nigel Jones

電話：+44-20-7753-2401

携帯：+44-7917-227-365

David Ovington

電話：+44-20-7753-2326

携帯：+44-7920-010-978

日本

**財務業務部**

植松 健

電話：03-3222-2440

携帯：090-4012-5960

メール：[Ken.Uematsu@riotinto.com](mailto:Ken.Uematsu@riotinto.com)

ウェブサイト：[www.riotinto.com](http://www.riotinto.com)

高画質な映像は右のリンク先より参照可能です：[www.newscast.co.uk](http://www.newscast.co.uk)

豪州

**Media Relations**

Ian Head

電話：+61-3-9283-3620

携帯：+61-408-360-101

Amanda Buckley

電話：+61-3-9283-3627

携帯：+61-419-801-349

**Investor Relations**

Dave Skinner

電話：+61-3-9283-3628

携帯：+61-408-335-309

Susie Creswell

電話：+61-3-9283-3639

携帯：+61-418-933-792

大木 龍

電話：03-3222-2440

携帯：090-8847-0607

メール：[Ryo.Ohki@riotinto.com](mailto:Ryo.Ohki@riotinto.com)